建築系学生奨励事業

# 第２５回 卒業設計コンクール展 開催

埼玉建築設計監理協会の法人化３０周年を機に始まった卒業設計コンクール展は、一般社団法人へ移行した協会の主要な活動として位置づけられています。コンクールは、その趣旨に賛同いただいた多くの企業・団体、協賛団体の協力により運営されています。

今年も会場を埼玉会館展示室とし、令和７年４月１９日(土)から２２日(火)開催され、１３大学、１５学部から４２作品が応募し、そのうち埼玉賞候補作品は２５作品、自由テーマの作品は１７作品となりました。

前回から審査方法が変更になり、作品には設計者の氏名・所属大学名が掲示され、審査時には設計者自らが作品の説明を行うことができることとしました。設計者が自らプレゼンテーションを行ない、設計趣旨などをアピールする能力も重要な審査基準としたことで、展示会場が大いに盛り上がりました。

今後、埼玉県知事賞、他受賞作品については、関連した自治体へのプレゼンテーションや展示を行う予定です。卒業設計での提案を基に、産官学が連携して地域の問題解決や賑わい創出ができることを期待しています。

□　開催主旨

学生が学内を超えて多様な発想やデザインを社会に向けて表現する場を提供することで、努力と創造性を社会から評価される機会を提供する。 特に埼玉の建築文化にイノベーションを起こし、埼玉の魅力を再認識させるような作品を奨励します。

埼玉の地域性や歴史、自然、文化を反映しながら、新しい視点で未来の建築やデザインを提案する作品を通じて 地域の可能性を広げるとともに、埼玉の建築文化の発展と魅力の発信に貢献する。

□　テーマ、募集作品

（１）埼玉をテーマとした作品（埼玉県知事賞対象候補）

（２）自由テーマの作品

上記の分類による都市や建築デザインをテーマとした作品の卒業設計を対象とします。

□　各　賞

埼玉県知事賞　１作品…テーマ(1)の作品の中で最も優れた作品　（副賞として海外研修旅行目録・30万円相当）

準 埼 玉 賞　１作品…テーマ(1)の作品の中で優れた作品　（副賞として5万円相当の目録）

埼玉建築設計監理協会賞　１作品…募集作品の中で最も優れた作品〔埼玉県知事賞受賞作品を除く〕（副賞として海外研修旅行目録・20万円相当）

準埼玉建築設計監理協会賞　１作品…募集作品の中で優れた作品〔埼玉県知事賞受賞作品を除く〕（副賞として5万円相当の目録）

埼玉建築設計監理協会賛助会賞　１作品…募集作品の中で優れた作品〔埼玉県知事賞受賞作品を除く〕（副賞として5万円相当の目録）

＜全作品対象＞

特別審査員賞　３作品…各大学の先生による審査とします（副賞として３万円相当の目録）

埼玉県住宅供給公社賞　１作品…まちづくりを題材とした作品（副賞として５万円相当の目録）

さいたま住宅検査センター賞　２作品…柔軟で新しい発想の作品　（副賞として５万円相当の目録）

ＪＩＡ埼玉賞　３作品…優秀な提案、建築家に相応しい作品。

総合資格学院賞　２作品…社会に飛び出す若駒のエネルギッシュな作品（副賞として５万円相当の目録）

日 建 学 院 賞　２作品…来場者の投票により選ばれた作品（副賞として５万円相当の目録）

奨　励　賞　適　宜

□　審査員　作品出展校から各学部の先生１名、埼玉県(１名)，さいたま市(１名)
(一社)日本建築学会関東支部埼玉支所(１名)、 (一社)埼玉建築士会(１名)、(一社)埼玉県建築士事務所協会(１名)、
(公社)日本建築家協会埼玉地域会(JIA埼玉)(１名)、(一社)埼玉県建設産業団体連合会(１名) 、埼玉県住宅供給公社(1名)、
(一財)さいたま住宅検査センター(１名)、当協会賛助会員(１名)、当協会会員

□　主　催　(一社)埼玉建築設計監理協会

協　賛　(一社)日本建築学会埼玉支所、(一社)埼玉建築士会、(一社)埼玉県建築士事務所協会、(公社)日本建築家協会埼玉地域会(JIA埼玉)、
(一社)埼玉県建設産業団体連合会、埼玉県住宅供給公社、(一財)さいたま住宅検査センター、(一社)埼玉県建設業協会、
(一財)埼玉県建築安全協会、(一社)埼玉建築設計監理協会賛助会、総合資格学院、日建学院、生和テクノス㈱、㈱中西製作所、
松坂屋建材㈱、㈱カワムラ 、㈱オキナヤ、㈱アーバンソイルリサーチ、大成建設㈱関東支店、斎藤工業㈱、㈱田中工務店、
柏木建設㈱、吾妻工業㈱、㈱佐伯工務店、㈱島村工業

後　援　埼玉県、さいたま市

# 各賞受賞者

| | | |
|---|---|---|
| ■埼玉県知事賞<br>菊池康太 | 日本大学理工学部海洋建築工学科 | 川越再群落化計画<br>～時を再び鳴鐘する群落的町並みのすゝめ～ |
| ■準埼玉賞<br>林　芽生 | 東京電機大学未来科学部建築学科 | 海のある埼玉<br>-更地にしない雑居街区再生- |
| ■埼玉建築設計監理協会賞<br>松下久瑠美 | 東京電機大学理工学部理工学科 | 遊具的建築 |
| ■準埼玉建築設計監理協会賞<br>福田文絵 | 実践女子大学生活科学部生活環境学科 | 来歴認承増殖都市<br>～歴史が育んだ‘図々しさ’が成長させる三河島建築～ |
| ■埼玉建築設計監理協会賛助会賞<br>糸久政喜 | 芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 | 人形の輪郭をひろげる |
| ■特別審査員賞<br>伊藤輝季 | 東京電機大学未来科学部建築学科 | 折りなす空間的秩序 -紙を用いた建築アプローチ- |
| ■特別審査員賞<br>関根萌恵 | 日本女子大学家政学部住居学科 | 流れる日々の関わりしろ<br>居方のリサーチによる当たり前の「ひとり」のための設計提案 |
| ■特別審査員賞<br>小保方空海 | ものつくり大学技能工芸学部建設学科 | 誰かの星で。 |
| ■埼玉県住宅供給公社賞<br>伊藤美紀 | 武蔵野大学工学部建築デザイン学科 | みらいのわ<br>-50年後のいま、50年後のみらい- |
| ■さいたま住宅検査センター賞<br>関口結衣 | 筑波大学芸術専門学群環境デザイン領域 | 戸田公園大艇庫<br>ー公園を囲み、日々をシェアするー |
| ■さいたま住宅検査センター賞<br>小野愛未 | 実践女子大学生活科学部生活環境学科 | 住人の迷いが導く重伝地区発展法<br>～山・寺・奈良井宿・線路・川が紡ぐ集楽生活～ |
| ■JIA埼玉賞<br>糸久政喜 | 芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 | 人形の輪郭をひろげる |
| ■JIA埼玉賞<br>林　明歩 | 日本工業大学建築学部建築学科 | 主題；暗渠道を耕す<br>副題；細長い菜園が育むまちの暮らし |
| ■JIA埼玉賞<br>小保方空海 | ものつくり大学技能工芸学部建設学科 | 誰かの星で。 |
| ■総合資格学院賞<br>村井悠斗 | 芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 | 再出発への軌跡 |
| ■総合資格学院賞<br>小松美材 | 東洋大学理工学部建築学科 | 線路跡地で分断を解消するメジャーディストリクト<br>～都市のイメージにならって～ |
| ■日建学院賞<br>田村実優 | 日本工業大学建築学部建築学科 | 森が織り成す多世代型シェアハウス<br>環境を纏う暮らし方 |
| ■日建学院賞<br>阿部倉周斗 | 芝浦工業大学システム理工学部環境システム学科 | 脈動都市-意識を揺さぶる新たなリズム- |

**埼玉県知事賞**

日本大学理工学部海洋建築工学科　菊池 康太

# 川越再群落化計画 ～時を再び鳴鐘する群落的町並みのすゝめ～

奥性ある町家形式が様々な暮らしや文化を内包し、町並みを構成するレイヤとなり重層することで群落的町並みを継承・更新してきた町、川越。急激な観光地化により、町は観光で飽和し、様々な活動が重層することで創られてきた群落的町並みは崩壊した。本設計では、都市を再群落化する自然に倣い、川越を再群落化する空間を導出する。暮らしの奥性と観光の奥性を再編し、古から今までの様々な暮らしや文化が重層する風景を取り戻す。

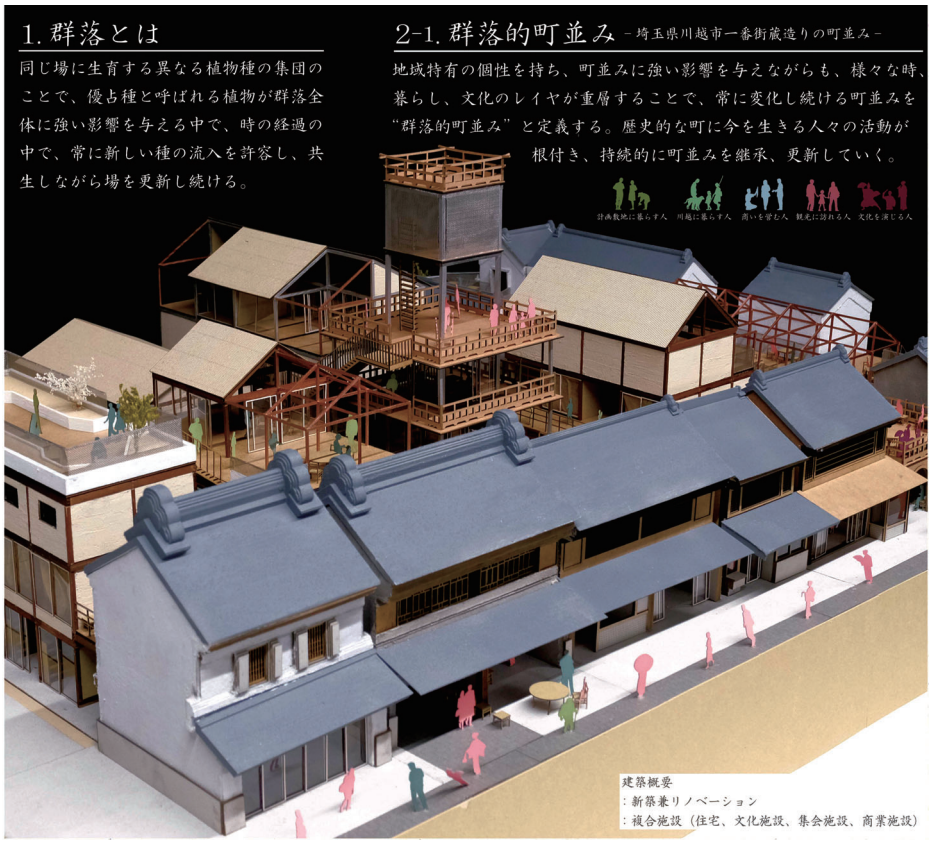
## 川越再群落化計画
～時を再び鳴鐘する群落的町並みのすゝめ～

### 1. 群落とは

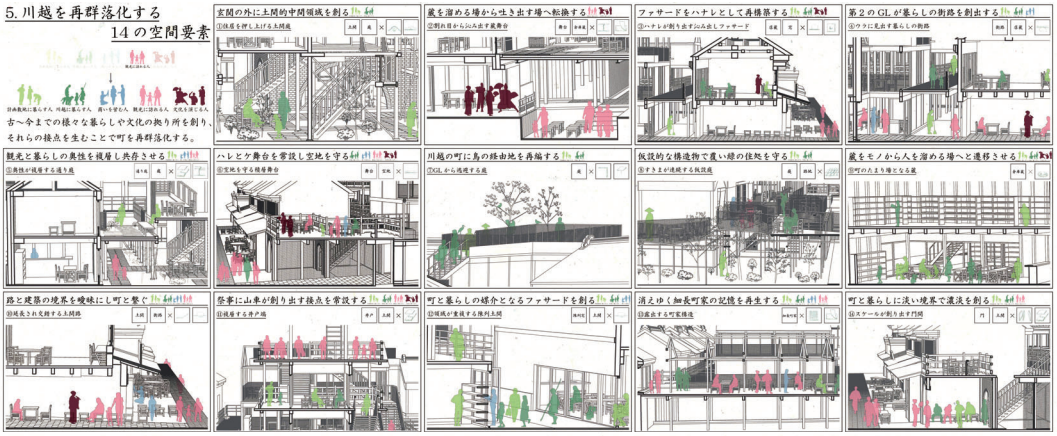
同じ場に生育する異なる植物種の集団のことで、優占種と呼ばれる植物が群落全体に強い影響を与える中で、時の経過の中で、常に新しい種の流入を許容し、共生しながら場を更新し続ける。

### 2-1. 群落的町並み －埼玉県川越市一番街蔵造りの町並み－

地域特有の個性を持ち、町並みに強い影響を与えながらも、様々な時、暮らし、文化のレイヤが重層することで、常に変化し続ける町並みを“群落的町並み”と定義する。歴史的な町に今を生きる人々の活動が根付き、持続的に町並みを継承、更新していく。

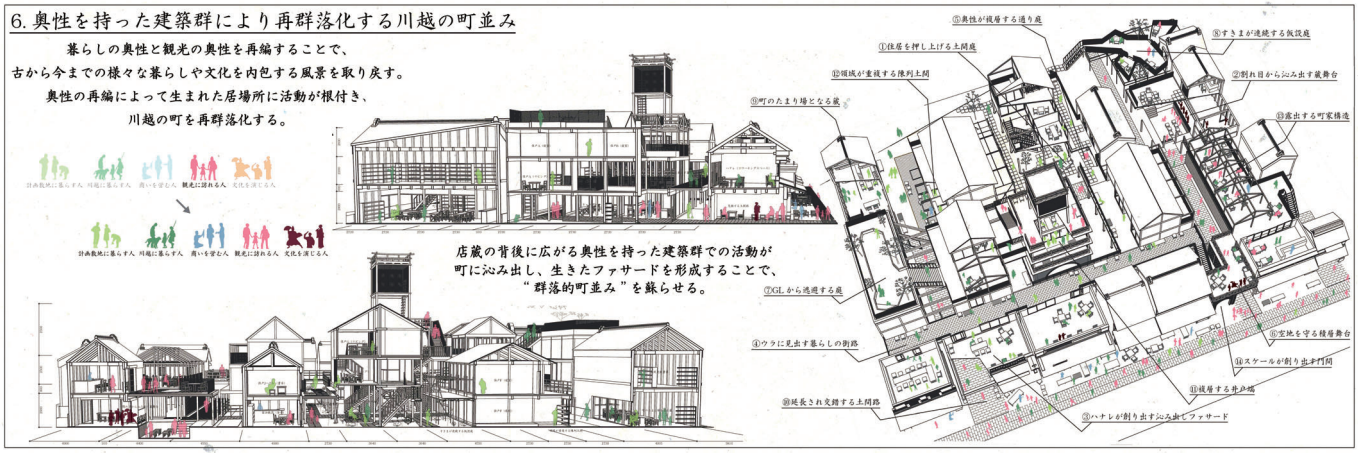


### 5. 川越を再群落化する14の空間要素




### 6. 奥性を持った建築群により再群落化する川越の町並み

暮らしの奥性と観光の奥性を再編することで、
古から今までの様々な暮らしや文化を内包する風景を取り戻す。
奥性の再編によって生まれた居場所に活動が根付き、
川越の町を再群落化する。



# 準埼玉賞

東京電機大学未来科学部建築学科　林　芽生

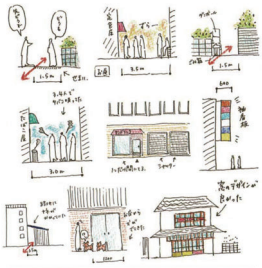
## 海のある埼玉　-更地にしない雑居街区再生-

大宮の雑居ビル群を「島」と捉えて、その隙間に「海のレイヤー」を挿入することで、都市に新たなネットワークを生み出す。地上階は賑わいのある「浅瀬」、上階は静寂に包まれた「深海」として捉え、都市の光の奥行きと人の営みの層を可視化する。新旧の建物を同じ価値で扱いながら、公共空間を創出し、都市の記憶を継承する。単なる再開発ではなく、新陳代謝のように街を更新し続けることで、多様な活動が交差する場を目指す。。

### 04. 雑居ビルのリサーチ

②大宮でのリサーチ

大宮の再開発が進む中、「私たちが日常的に使っている道が失われてしまう」という市民の声があった。大宮の道は定食屋の行列ができる場、喫煙所、荷捌きスペース、立ち話の場として機能する。



これらの小さな営みが都市の個性を形成し、人々の記憶や日常と深く結びついている。

### 01. 設計構想「海」

埼玉に海をつくる。海は誰のものでもなく、常に変化し続ける。浅瀬から深海まで異なる環境が広がり、波によってそれらが混ざり合う。都市もまた、異なる環境や出来事が折り重なりながら、変化し続ける場である。

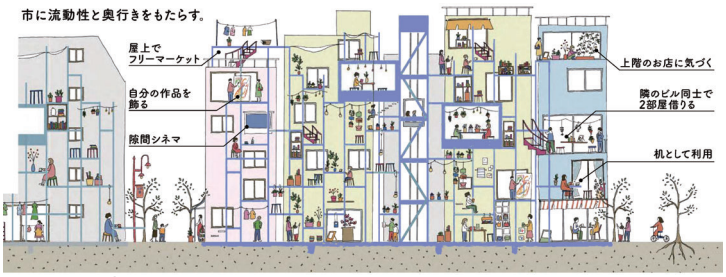
### 02.「海のレイヤー」のコンセプト

大宮の雑居ビル群を「島」と捉え、その隙間に島同士をつなぐ「海」を挿入する。この海の層を「海のレイヤー」と名付ける。

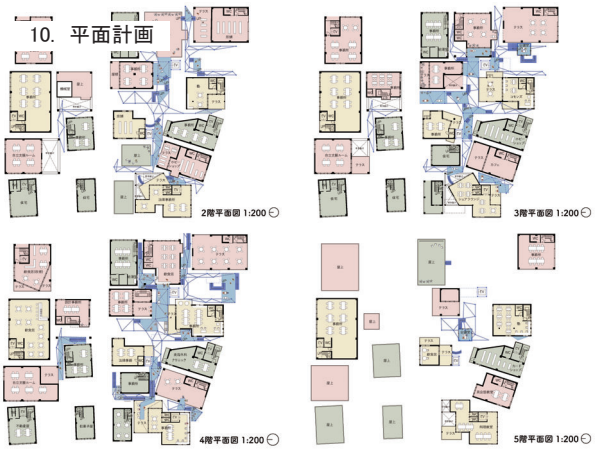
既存建物の隙間を活用した公共空間を創出する。新旧の建物を同じ価値で扱いながら都市のインフラを形成し、建替え時にも影響を与えつつ都市の記憶を継承する。

### 05. 提　案

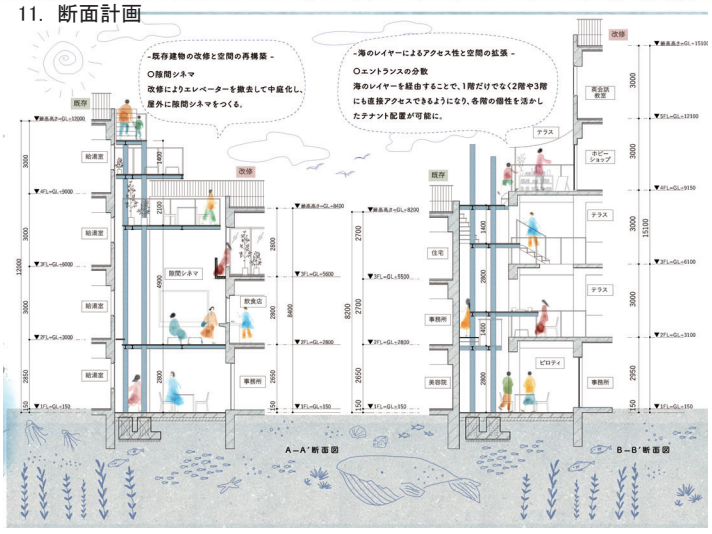
「海のレイヤー」は700mmの段差で床を連ね、都市に新たな地形を生む。場所ごとに異なる関係性や活動の場を生み出す。人々は海の中にいるように自由に上下でき、高さの違いが偶発的な出会いや多様な使い方を誘発し、都市に流動性と奥行きをもたらす。



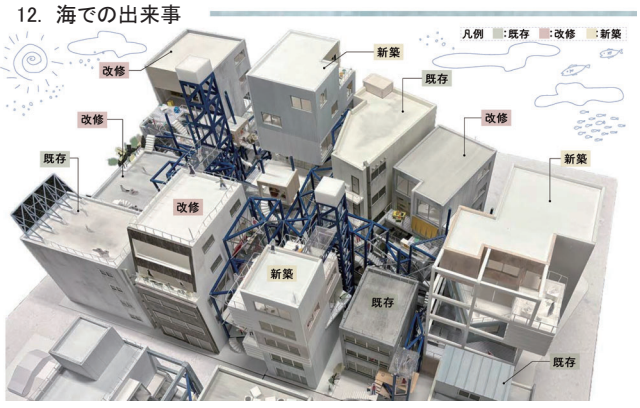

### 10. 平面計画




### 11. 断面計画




### 12. 海での出来事



# 埼玉建築設計監理協会賞

東京電機大学理工学部理工学科　松下 久瑠美

## 遊具的建築

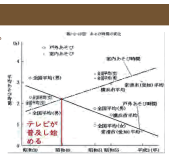
坂や階段が多く存在する斜面地は住みにくいと捉えられがちだが、子供たちの想像力を刺激する可能性を備えている。そこでランドスケープに遊具の要素を組み込み、計画エリア全体が複合遊具のある大きな公園に見えるデザインを提案し、それによって地形、道、建築、外構、遊具という異なるスケールの要素が融合した風景を生み出す。また、建物と遊具を融合させ子供と大人が一緒に遊ぶことができ、さらに、そこで遊ぶ子供たちの様子が他の子供達の興味を引き、遊びへと誘導する。

### 子供にとっての「そとあそび」

子供にとって遊びは暇つぶしではなく、自発的かつ自由な遊びに没頭することで、自分の中にある様々な力を引きのばしている。
そうした力を最も伸ばすのが「そとあそび」である。
自然や変化に富む屋外の遊び場は子供をより活発に行動させ、様々な物に触れることができる。

### 短くなる遊び時間

子供が屋外で遊ぶ機会は減少している。
1981年では2時間11分であったのが
2016年には1時間12分
まで減少した。



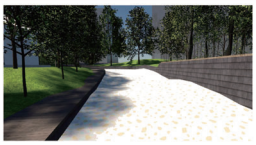
【原因】
夜型生活習慣
幼児期からの習い事の増加
通塾率の増加
テレビやゲームといった電子メディアの普及

### 減少する遊び空間

都市開発や少子化の進展等が、子供の心の発達に重大な影響を及ぼす可能性があるため、主体的に体を動かす遊びを中心とした身体活動を幼児の生活全体の中に確保することが課題となっている。

公園等の遊具が危険と判断され撤去されて行ってしまっていることや、自然スペースといった遊びの空間が失われつつあることも子供の「そとあそび」の減少要因になっている。

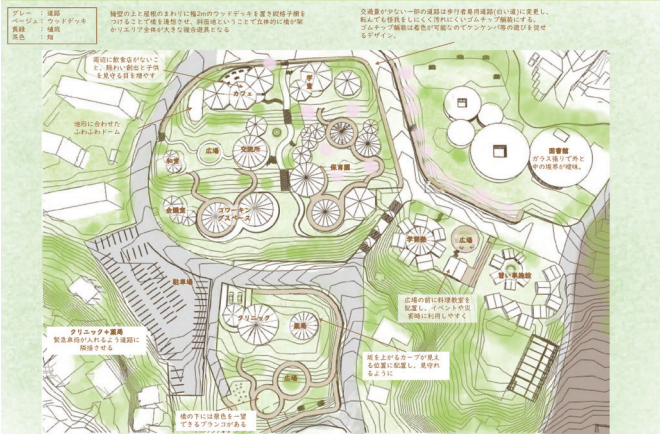
## 15 道



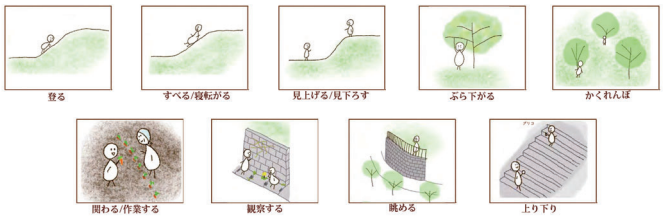
歩行者専用道路は転んでも怪我をしにくいゴムチップ舗装とする。
また着色可能なのでケンケンパ等の遊びを促すデザインとする。

高さ300～600mmの擁壁に
ウッドデッキを置き、散歩の途中で座れる。
お年寄りが休憩しやすくなる。

## 10 配置図

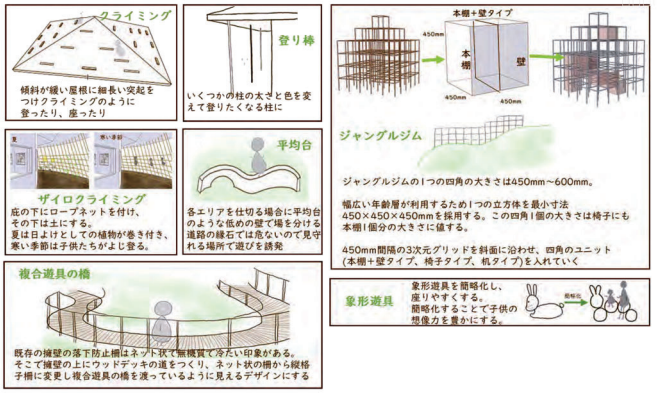



## 07 敷地環境が生み出す子供の動作




## 09 建物を遊具化する

公園等でよく目にする遊具は重量制限や年齢制限があり、大人と一緒に遊ぶことができず、大人の目が届きにくいことがある。
建物という大きな構造物を遊具化することで大人と子供が一緒に楽しむことができるようになる。

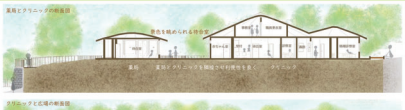



## 21 模型写真

## 13 習い事施設・塾

## 12 保育園

## 11 薬局・クリニック



## 14 図書館

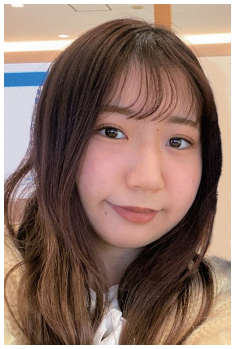
# 準埼玉建築設計監理協会賞

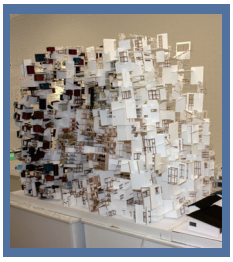
実践女子大学生活科学部生活環境学科　福田 文絵

## 来歴認承増殖都市

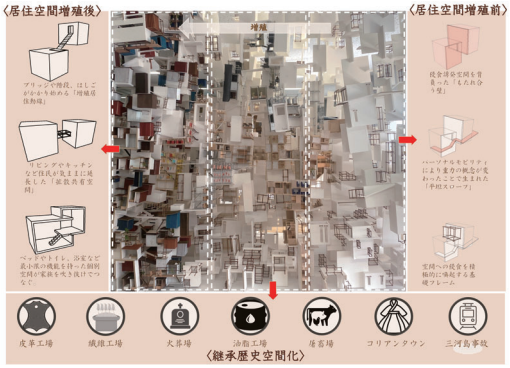
### ～歴史が育んだ‘図々しさ’が成長させる三河島建築～

一つひとつの街には歴史がある。歴史が人々の性格を生み出し、その一人ひとりの空間の使い方が集積して街は成長していく。現代の再開発事業において超高層建築を建てる際、その土地の過去を拭い去り、そして巨大な箱を作ってしまう。そのアンチテーゼとして今まで積み重なった歴史を継承し、そこから生まれる人々の空間に対する愛着や占有する気持ちを礎にして、増殖する都市の構成法を提案する。
侵食誘発空間を背負った「もたれ合う壁」にパーソナルモビリティにより重力の概念が変わったことで生まれた「平坦スロープ」が付き、さらに空間への侵食を積極的に喚起する「基礎フレーム」で構成され、そこに増殖建築の主要な構成要素となる７つの歴史を挿入した空間で形成される。





### 増殖都市建築の成長概念



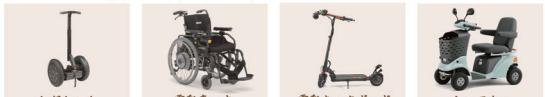

### ０２．設計手法　自己表現と占有と共有と・・・　８つに分類される三河島の特徴

### ０４．設計手法　６種の基礎フレーム

住民にvoid空間を認識させ、積極的に侵食させることで、自己表現や占有・共有を誘発する空間的なシステムである。

### ０５．設計手法　「平坦スロープ」と住民の「増殖居住動線」

パーソナルモビリティの発達により、老人や子供を含む人々の重力の概念が大きく変わった。ある一定の勾配と幅のスロープはもはや平坦な道「平坦スロープ」として認識される。
三河島はフラットな街ながら人や物が複雑に絡み合って成立している。それを三次元的に成長させるために、パーソナルモビリティの活用を前提とした動線計画を取り入れる。




「平坦スロープ」

住民が侵食する岩の初期段階から付随する動線。もたれ合う壁に噛み込み、フレームを貫通しながら絡み合って付随する。

「増殖居住動線」

空間を侵食し、増殖していく住民のエネルギーは非常に大きく、隙間を活用するために、ブリッジや階段、はしごなどがかかり始める。

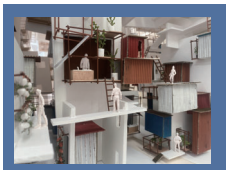
### ０７．設計手法　増殖居住空間（拡散共有空間+最小個別空間）

**拡散共有空間**

人々は侵食空間に共有できる生活スペースを出してしまう傾向が強い。リビングやダイニング、キッチン、趣味の空間などが住民が気ままに侵食した「拡散共有空間」にあふれ出す。

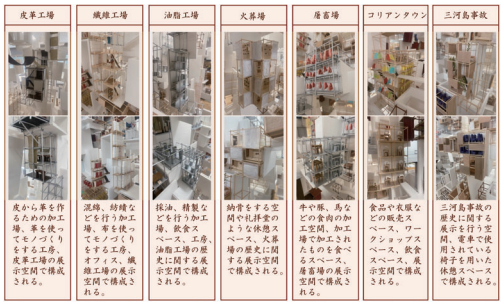
**最小個別空間**

より多くの住民がせめぎ合いながら居住空間を探し出す。トイレや浴室、ベッドなどの最小の個別空間が折り重なるように住民たちの手により作られ増殖していく。



### ０９．設計手法　三河島住民の空間概念を形成した歴史の空間化

目を背けたくなるようなものを含め、様々な歴史が積み重なり、時には克服することで、自己表現や占有・共有といった空間概念が形成され、協力（もたれ合い）の意識なども大きく発展した。以下の歴史を継承して空間化する。そして増殖を誘発する人々の拠所としての構成要素となる。



# 各賞受賞者

| 賞 | 氏　名 | 学　校　名 | 作　品　名 |
|---|---|---|---|
| 埼玉県知事賞 | 菊池康太 | 日本大学<br>理工学部海洋建築工学科 | 川越再群落化計画<br>～時を再び鳴鐘する群落的町並みのすゝめ～ |
| 準埼玉賞 | 林芽生 | 東京電機大学<br>未来科学部建築学科 | 海のある埼玉<br>-更地にしない雑居街区再生- |
| 埼玉建築設計監理協会賞 | 松下久瑠美 | 東京電機大学<br>理工学部理工学科 | 遊具的建築 |
| 準埼玉建築設計監理協会賞 | 福田文絵 | 実践女子大学<br>生活科学部生活環境学科 | 来歴認承増殖都市<br>～歴史が育んだ‘図々しさ’が成長させる三河島建築～ |
| 埼玉建築設計監理協会賛助会賞<br>JIA埼玉賞 | 糸久政喜 | 芝浦工業大学<br>システム理工学部環境システム学科 | 人形の輪郭をひろげる |
| 特別審査員賞 | 伊藤輝季 | 東京電機大学<br>未来科学部建築学科 | 折りなす空間的秩序<br>-紙を用いた建築アプローチ- |
| 特別審査員賞 | 関根萌恵 | 日本女子大学<br>家政学部住居学科 | 流れる日々の関わりしろ<br>居方のリサーチによる当たり前の「ひとり」のための設計提案 |
| 特別審査員賞/JIA埼玉賞 | 小保方空海 | ものつくり大学<br>技能工芸学部建設学科 | 誰かの星で。 |
| 埼玉県住宅供給公社賞 | 伊藤美紀 | 武蔵野大学<br>工学部建築デザイン学科 | みらいのわ<br>ー50年後のいま、50年後のみらいー |
| さいたま住宅検査センター賞 | 関口結衣 | 筑波大学<br>芸術専門学群環境デザイン領域 | 戸田公園大艇庫<br>ー公園を囲み、日々をシェアするー |
| さいたま住宅検査センター賞 | 小野愛未 | 実践女子大学<br>生活科学部生活環境学科 | 住人の迷いが導く重伝地区発展法<br>～山・寺・奈良井宿・線路・川が紡ぐ集楽生活～ |
| JIA埼玉賞 | 林明歩 | 日本工業大学<br>建築学部建築学科 | 主題；暗渠道を耕す<br>副題；細長い菜園が育むまちの暮らし |
| 総合資格学院賞 | 村井悠斗 | 芝浦工業大学<br>システム理工学部環境システム学科 | 再出発への軌跡 |
| 総合資格学院賞 | 小松美材 | 東洋大学<br>理工学部建築学科 | 線路跡地で分断を解消するメジャーディストリクト<br>～都市のイメージにならって～ |
| 日建学院賞 | 田村実優 | 日本工業大学<br>建築学部建築学科 | 森が織り成す多世代型シェアハウス<br>環境を纏う暮らし方 |
| 日建学院賞 | 阿部倉周斗 | 芝浦工業大学<br>システム理工学部環境システム学科 | 脈動都市<br>ー意識を揺さぶる新たなリズムー |
| 奨　励　賞 | 増田り子 | 日本女子大学<br>家政学部住居学科 | 肌理の知覚<br>ー自然がつくる時間と人工物がつくる時間- |
| 奨　励　賞 | 嵩島愛華 | 日本工業大学<br>建築学部建築学科 | クサキハナノテラス |
| 奨　励　賞 | 大山ななみ | 東京電機大学<br>未来科学部建築学科 | 世代を超えたキャッチボール<br>ー持ちつ持たれつ学生と農業ー |
| 奨　励　賞 | 渡辺健斗 | 芝浦工業大学<br>システム理工学部環境システム学科 | 文化が溢れる日常<br>ー地域とつながるコンサートホールー |
| 奨　励　賞 | 松本果穂 | 実践女子大学<br>生活科学部生活環境学科 | 生産創造消費社会 |
| 奨　励　賞 | 野本拓臣 | 日本工業大学<br>建築学部建築学科 | ブドウ棚Base<br>ー西桑原農交拠点ー |
| 奨　励　賞 | 白倉柊斗 | 東洋大学<br>理工学部建築学科 | 公園としてのスタジアム<br>～地域と共生するスタジアムの在り方～ |
| 奨　励　賞 | 宮本雄吏 | 東京理科大学<br>創域理工学部建築学科 | 参道が結ぶ大河と地下水路 |
| 奨　励　賞 | 山﨑誠一郎 | 慶應義塾大学<br>理工学部システムデザイン工学科 | 地縁を織る |
| 奨　励　賞 | LE THI<br>PHUONG ANH | ものつくり大学<br>技能工芸学部建設学科 | TRE（Bamboo）Link + D15<br>ー熊谷駅南北軸プロムナードの設計提案ー |
| 奨　励　賞 | 梶原綾真 | ものつくり大学<br>技能工芸学部建設学科 | 行田市廃校を利用した人流・物流拠点の設計提案 |
| 奨　励　賞 | 本間隆太郎 | 日本大学<br>理工学部建築学科 | 地へふれる水脈 |
| 奨　励　賞 | 佐々木柚月 | 芝浦工業大学<br>システム理工学部環境システム学科 | つながりの交差点<br>～多国籍・多世代が協生し、利根川と共生するまち：栗橋へ～ |
| 奨　励　賞 | 服部沙菜絵 | 実践女子大学<br>生活科学部生活環境学科 | クロスオーバー<br>～仮想現実漂流空間～ |
| 奨　励　賞 | 折田匠 | 日本大学<br>生産工学部建築工学科 | 知の階梯<br>-駅前ロータリーと共生する図書館- |
| 奨　励　賞 | 柳沼翔 | 日本工業大学<br>建築学部建築学科 | 繋ぎ・継ぐ.<br>-岩槻人形通り- |
| 奨　励　賞 | 許裕伊 | 工学院大学<br>建築学部建築デザイン学科 | 宿す個性<br>-ボストモダンの自由な造形から学ぶ「元気な建築」のつくりかた- |
| 奨　励　賞 | 髙橋樹 | 日本大学<br>生産工学部建築工学科 | 湯景<br>-現代湯治宿の再考- |
| 奨　励　賞 | 髙木優 | ものつくり大学<br>技能工芸学部建設学科 | Container × Roll<br>～クレーンとコンテナを使用した新しい商業施設のプロトタイプ設計～ |
| 奨　励　賞 | 佐藤駿悟 | 東洋大学<br>理工学部建築学科 | city in city on city<br>ー選手村跡地におけるアンチテーゼとしての病院ー |
| 奨　励　賞 | 小泉葵生 | 工学院大学<br>建築学部まちづくり学科 | 雨が降るらしい<br>ー水脈が導く文化の再生ー |
| 奨　励　賞 | 合田優斗 | 東京電機大学<br>未来科学部建築学科 | 交錯の導<br>ー劇場性を用いた複合型商業施設の提案ー |
| 奨　励　賞 | 伊藤駿作 | 日本大学<br>生産工学部建築工学科 | 御柱の鎮魂 |
| 奨　励　賞 | 大橋萌香 | 東京電機大学<br>未来科学部建築学科 | 木構の景譜<br>ー木材と学びが重なり紡ぐ風景ー |